

## 令和4年度第9回「金沢の未来を語る まちづくりミーティング」議事要旨

- ・日時：令和4年11月30日（水）18時30分～
- ・場所：金沢美術工芸大学 美大ホール
- ・対象：小立野、崎浦、内川、犀川、湯涌、  
田上、東浅川、俵、医王山  
(校下、地区)

### 1 開会

#### 【村山金沢市長】

皆さん、こんばんは。

平日ではありますけれども、このような時間帯にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

さて、まちづくりミーティングでありますけれども、3年ぶりの開催となっております。もちろん私にとっては今年度初めての開催ということでもありますけれども、3年間行っていなかったということもあり、今年については全ての町会の皆様にお声をおかけして、町会連合会のブロック単位で9回に分けてお集まりをいただいて、このまちづくりミーティングを開催させていただいております。

そして、通常のような形ではなくて、私は今年度と来年度の2か年をかけて都市像を策定しているという中でありますので、今後10年後を見据えた都市像の中で、それに当たってのご意見を伺うという形で今回開催をさせていただいております。ぜひ皆様方の忌憚のないご意見をお聞かせいただければというふうに思いますので、よろしくご意見申し上げます。

### 2 市長講和「親和力で奏でる金沢」

市長講和の内容については、レジュメを参考願います。

### 3 意見交換

#### 【内川校下町会連合会】

今年の8月4日に大雨がありまして、そのときにはいろいろと市のほうからご援助いただき、復旧等に本当にありがとうございました。そのおかげで被災した家屋もいろいろと助けていただいて、今、生活再建をやっている最中でございます。

そんな中で金沢の将来の都市像をというふうないろんな意見をお聴きしたんですが、我々の住むところは中山間でございますけれども、その中で森林の整備ということで森林環境譲与税が創設されて数年たちます。そして、金沢にも相当な金額が交付金として入っているというふうに思いますが、私自身も森林所有者ではありますけれども、まだまだ目に見えたアクションがあったり、あるいはモデル林の整備ができたり、今回の災害においても森林が適正に管理されなかったことによる被害の増大というのも十分に影響していると思いますし、それらは全国的な問題でございますが、ぜひ森林整備に関してもう少し木質都市の宣言もされたりとか、いろんな学校での木質化の活用も現に目にはしておりますが、そういう形で公共施設とかにも利用していただくことはもちろんですけども、まずは森林の整備を今の制度では整備できていない森林を行政が支援して整備するというようなことなんですが、ぜひ整備できているところの木も相当長い間で育っておりますので、その木をぜひ活用する方法を、そして新しい緑によみがえらせる方法をぜひやっていただくと、地域も明るくなったり、あるいは獣害を防ぐことにもつながったりということになっていって、また仕事もできたりというようなことにつながっていくんじゃないかなと思います。森林整備と木の使い道というか、もっと用途を広げてもらえたらいいなというふうに思うんですが、何か今後に向けていいお話を聞けたらいいなと思いますので。簡単にできないことは重々承知しておりますので、よろしく願います。

#### 【村山金沢市長】

ありがとうございます。

先ほど地域おこし協力隊のところでは東原地区を活動拠点として自伐型林業の活動に取り組んでいただけるという方の募集をしております。10月から12月12日まで募集しております。その方がどれくらいやっていただけるかということも期待をしております。

私は公約のパンフレットの中で主伐に向けてということを申し上げました。これはカーボンニュートラル、ゼロカーボンを目指してという中にも関係するんですけども、年限

がたち過ぎた木の二酸化炭素の吸収量が非常に減ってきていると、もう満杯に吸い過ぎているところから、木を幾ら育てても二酸化炭素の吸収源にならないそういった木については伐採して、また新しい二酸化炭素を吸ってくれる木を植えなきゃいけないということもあります。

ただ一方で、おっしゃったとおり主伐を行うにしても、これまで行ってきていなかったもので、どういったところに課題があるかというところが分かってきておりません。そういったところをモデル的に来年度以降行っていこうということで今着々と進めさせていただいております。

その一方で、木を使っただけということ、さらに木を使っただけではなくて木を使っていることを見せることも大事かなと思っています。金沢の家屋は木造の家屋がかなりの割合であるんですけども、木を隠す形で使われているというように思っています。それを木を見せて、木のぬくもり、親しみというところを提供できないかということで、これは木造住宅協会さんを中心にそういった取組をされております。

公共施設でとなると、やはり鉄骨造りの中で、これは耐震性の課題との対応になっていくんですけど、鉄骨造りの中で木材を見せるというところに現在シフトしてしまっています。いずれ主伐ができてくれば、これは今海外からの木材がかなり値段が高騰してきて日本の木材でも闘えるようなところになってきたということが一つのチャンスだというように思っておりますので、主伐に向けて取り組んでいきたい、その支援をしていきたいというように思っております。

#### 【小立野町会連合会】

我々の今思っていることで身近な問題ですけど、この美大が来年の秋には新しいほうへ移転するんですが、我々の関心としたらこの跡地がどんなふうにかされるのか。大きな地面ですからいろんなお考えがあると思うんですが、以前から我々お願いしているのは、ここの開発に当たっては、もし市が開発するにしろ、売却するにしろ、地元の意見を取り上げていただいて、我々の考えも取り上げてほしいということを前から申し上げておりますので、その時期が来ましたらぜひひとつよろしくお願いします。

それと、ちょっと私思うんですけど、今までの市長のお話聞くと、いわゆる芸術文化に対する思い入れというか、随分力入っていると思うんですが、いわゆる製造業、その辺がしっかりしないと学校を卒業しても仕事がないというような方が都会へ出かけていくと

ということが多いと思うんですが、製造業、生産に対する施策といたしますか、その辺がもしお考えがあればお聞かせください。

**【新保都市政策局長】**

ありがとうございます。まず、美大跡地のお話を私のほうからさせていただきます。

ご案内のとおり今、新校舎の建設工事をしておりまして、来年2月末までに大体建物は完了して、その後外構工事に入り、来年10月の新学期から新校舎を使用する予定ということになっています。

跡地につきましては、金沢大学さんのほうから取得に対する要望書というものが提出をされておりまして、今現在、金沢大学さんと協議をさせていただいているということでございます。

地元の方々からのご要望も我々承っておりますので、ぜひ皆様方に対するそういう説明についても金沢大学さんとともにどのようなことになるかということも含めて今後させていただきたいというふうになっておりますし、当然大学さんに、もしお売りすることになれば、その条件面等々を議会にもお諮りする案件でございますので、地元の方々とともにそういうことも含めて今後慎重に協議をしていくということでございます。

**【村山金沢市長】**

製造、生産がしっかりしないとということについては、我々のところでは経済局の担当になるんですけれども、このコロナ禍でのまず支援を行わせていただきました。これは資金繰りの支援、そして事業継続の支援という形での支援をさせていただいたところであります。それに加えて、雇用継続の支援ということも行わせていただきました。

一方で、これから大事になってくるのは事業をどう継承させるかということも含めての支援だというふうに思っています。また、その技術をどうつないでいくかということについても行っていきたいと思えます。

一方で、現在の各企業さんが抱える悩みのもう一つ大きなところとして、人材が確保できないということがあります。私、地方創生ということが叫ばれた初期段階に香川大学において、いろんな団体の総合戦略の策定のお手伝いをしたんですけれども、そういうところに行くとみんな高校を出たら大学で都会に行ってしまう。自分の地元にはみんな残らないんだという話をされました。

一方、金沢というところは学都であり、人口当たりの学校数が一番多いと言われている地域であります。そういった学生がたくさん集まるということは就職する可能性もある中で、この地域に残らずに出ていってしまうというのは大きな損失になるというように思っています。高校生、大学生に金沢の魅力を伝え、金沢に定着してもらいたい一方で、どう仕事をしたらいいかというような、魅力的な就職先がたくさんあって、そこが雇用に困っているというところですので、企業の紹介のような形でのアプローチを現在は行っております。

それ以上に必要などころがあるとすれば、どういったところか、これは経済界、商工会議所等も含めて相談してまいりたいというように考えております。

#### 【小立野町会連合会】

小立野に立派な美大を造っていただいております。ただ、私思うんですけども、これだけの規模、これだけの大学を造って、まだ工芸大学という名前じゃなしに、これを芸術大学にしてほしかったんです。もともと三美大で、京都芸大と東京芸大、金沢美大という形で進んでまいりました芸術の大学の中で少し見劣りがしてきた。でも、これを機会に私は金沢芸術大学になるんじゃないかなというような期待をしていたわけなんですけれども、それはちょっとかなっていません。これから先どのようにこの学校を持っていけますか。

#### 【村山金沢市長】

金沢美術工芸大学は私の母の出身校でもありまして、非常に思い入れが強い。

芸術大学にしたい意向の人もいる一方で、美大と美術工芸大学という名前と、それに愛着を持つ方もかなりの程度いらっしゃいます。かつては先ほどの三美祭、今、五芸祭という名前になっていますけれども、三美祭といった美なんですよね。美術に対するこだわりが強い方がいらっしゃるの、今のところこうなっていることもご承知いただきたい。

総合芸術大学にするというところのハードルももう一つ出てきます。伝統的な音楽、素囃子等もあるし、謡もあるし、お能もあるし、あるいはオーケストラ・アンサンブル金沢があるので洋楽のほうも、先生の方々はたくさんいるんですけども、これを教えた後の学生たちがどう就職するかという受皿が実は今あまりなくて、芸術家、特に音大を卒業した方々の音楽以外の仕事に就いている人は非常に多いというところが一番の課題かなと

いうように思っています。これをどう増やしていくか。

私が高校から大学に入る頃に比べると、それでも音楽の就職先が2倍ぐらいになったかなというように思っていますけれども、そこがもう少し高まらないといけないかなというように思います。

私も音楽をやるので音大があるといいなどは思うんですけども、そこまで一足飛びに飛べないのが今の現状であります。

#### 【崎浦地区町会連合会】

美大、それから図書館、いろいろ整備をいただいて、隣の町会と一緒に大変うれしく思います。

ただ、そんな中で一つお願いをしたいと思うのは、空き家対策なんです。今、私どもの小さな町会の4軒も5軒も空き家になっておるんです。先般、ある物件についてどうにもならないので7月の時点で市のほうに相談をしました。それを昨日連絡いただきまして、その地権者といえますか、追いかけたけれどもどうしても見つからなかったので町会で弁護士を頼んで、弁護士さんと相談してほしいというようなことでした。それはそうだろうと思うんです。なかなか難しい問題だろうと思うんですけども。ただ、町会としても弁護士費用まで出してというのはなかなかできないと。

もう一つは、10年先といえますか、これから10年先を見据えたときに、年寄りになってくると空き家がたくさん出るんじゃないかと思う。それをその町会といえますか、関係者だけで処理するというのは非常に難しいなど。これも昨年から実は本家といえますか、出生地の本家のところへも相談をし、それからいどこにあたる人たちにも相談をしましたけど、もう年齢が離れておるといえますか、祖父の時代のものだとかいろいろあるんです。そうしますと分かったなんて言ってくれないんですよ。

そんなところから何か市のほうでそうした対応でき得るような組織とか、対応でき得るようなところを相談所みたいなものをお願いできんかなと。

私どものほうはこれから本当に先ほどの市長さんのお話になりますけど、年寄りが3割、4割となるんですね。そうすると、先ほども言いましたが空き家が既に五、六軒あるんです。そんなところからこういうことを、そのために根を詰めてできるかといったらなかなかできないと思うんで、そこら辺りをひとつ、これから先を見据えてそんな場所も組織の中でできていただければなとこんな思いを込めて、まずお願いをしておきたいとい

うふうに思います。よろしくお願いをしたいと思います。

#### 【村山金沢市長】

担当は、私どもの都市整備局の住宅政策課の空き家活用推進室が担当になっていますので、そこにご相談されたんだと思います。

今後、現在は専門団体の方々に構成して、その利活用をどうしていったらいいかということを検討していただいておりますけれども、確かにこれから10年後はより高齢者が増えていくという中ではなかなか厳しいだろうなというように思っております。

今の段階ではなるべく空き家になることを事前に防止するというところを行っております。そのために施設などに入所する方に対して、なかなか言いづらいんですけども入所に合わせて空き家の発生防止に向けての対応をしているというところがあります。

ご意見いただいたことも含めてこれから検討してまいりたいと思います。

#### 【犀川地区町会連合会】

私たちの地域は本当に問題点は一つだけなんですけれども、県道倉谷土清水線ですか、そのせいでちょうど永安町の交差点があるんですけれども、そこが物すごく渋滞する。当然皆さん知っているとおりに、大学があり、高校が2つあり、そして中学校、また今年新たに学院中学校ができた。そしてまた大きなグラウンドもできた。本当に渋滞がすごい。朝になったら渋滞、また帰りも渋滞というような形です。また、本当は区画整理を予定していたんですけれども、その中に都市計画道路がありましたけれども、それもなくなったということを非常に弱っているわけでございます。

市に言っても駄目、県に言わな駄目やと言うかもしれませんけれども、その辺を何か後押しといいますか、金沢市から応援いただけないか。例えば県道を広くするとか、こういう計画をするとか、何かそういった新たに一つ、地元としては10年後と言いますけれども10年後、何かこんなんでできるよというような目安が欲しいと思うわけでございます。

よろしくお願います。

#### 【木谷道路管理課長】

今、県道が狭いというお話がございまして、都市計画がなくなって、区画整理もされずに、今、道が非常に渋滞し、渋滞で困っておるというお話。

そこは県道なのですが、私どもの道路管理課にも、あそこが狭い、歩道が歩きにくい、非常に危険だ、とにかく小学校、中学校、大学生が増えて非常に危険で困っているというお話は常々こちらのほうにも届いております。この件については、私どもも石川県の県央土木事務所にお会いするたびに、しっかりお伝えしているところであります。

また、永安町から下のところには痛ましい事故が今回起こったわけなのですが、住宅地のところは道路の拡幅改良の予定はございませんが、ただ、地域からの要望、我々も現状も把握しながらしっかりと、事故が起こった後はすぐ看板の設置とか路面標示はさせていただいたところですが、何とかできることを考えながら、市道のほうについては対応していきたいというふうに考えております。ただ、県道についてはしっかりと要望を、県に伝えたいと思っております。

#### 【東浅川地区町会連合会】

実は私どもの東浅川小学校、現在閉校中でございますけれども、昨年6月1日に市のほうに市長さん宛てに跡地利用のことで要望書を出させていただきました。教育総務課さんの指導もございまして、いろいろ参考になる物件というか施設も見学させていただいて、こういうようなものがどうかなというふうな提案もございまして、地元の方の意見も、皆さんの見学に参加した方々の意見ではいい話やなというふうなことも承っております。

それで、今後の方向性についてはそのような形に進みますということで地域住民にそのご案内をしてもいいですよということで昨年しましたけれども、なかなか具体的な進み具合というか、教育総務課さんのところにこの春、ちょうど提出して1年たった暁にお邪魔しましていろいろ聞いてきたんですけど、我々の地元のほうは今公民館がありますけど、公民館は耐震化ができてないために現在閉校中の小学校の中に公民館も移りたいということで、その方向性はお認めいただきまして生涯学習課さんと今お話を進めております。

それで、もう一つは地元の町会の会館を利用して放課後児童クラブということで東浅川児童クラブがあるんですけど、それも市の子育て支援課さんの指導をいただきまして何とか学校の中に入居できるような方向が見えてきました。

ただ、それは大きな学校の中のほんの一部にすぎませんので、メインとなる建物はどういう、もともとの提出させていただいたそれに本当に進むのかどうか。やはり時間がたてきますと地域住民の方が本当にそういうふうになるのというふうな質問も我々のほうに寄せられてきていますし、もう少し精度の高い、スピードアップを図っていただけるよ



うなことを望んでいる次第でございます。ぜひまたよろしくご配慮いただきたいと思えます。

**【新保都市政策局長】**

都市政策局から少しお答えをさせていただきます。

教育委員会のほうから我々もお話を伺いまして、教育委員会のほうは今、学校の統廃合等々で跡地が出てくるという課題を持っておりまして、それを全庁的にどういう跡地の活用をするかということは我々の部署も入りまして検討させていただいているところでございます。

東浅川地区のご要望、子どもさんを中心ににぎわいをというお話も伺っておりますので、そのようなことをどのように実現していくかということは、教育委員会だけでなく我々の部署も、それから先ほど児童クラブの話もありましたけど、こども未来局のほうも一緒になって、同じ小学校の跡地ですので、どういう形でそれが実現できるかということは今検討させていただいております。幾つか課題、当然公民館が入るとなると時間的なものが変わってきますし、児童クラブについても条件的なこともお聞きしておりますので、そのような課題もクリアしながら、コアとなるそういうもの、利活用の中心となるのはどういうことかということは今検討している途中でございますので、もう少しお時間をいただければと思っております。以上でございます。

**【田上地区町会連合会】**

朝霧台小学校が来年4月開校ということで着々と準備をしていただいて、本当ありがとうございます。建設に当たりまして、我々住民の意見も取り入れていただいて、かなり反映された校舎になっているんじゃないかなというふうにして期待しております。

その中で、子どもたちの通学路が変わったり、新しい小学校に向かうトラフィックがかなり増えたり、あのエリアの交通網というのはかなり環境が変化するんじゃないかなと思います。

そういう中で、安全な地域の交通対策、地域住民も見守り等を協力しながらやっていきたいと思うんですけども、なかなか行き届かないところもあると思いますので、その辺り市のほうもまた協力していただいて、子どもたち、あるいは住民の安全な生活環境が保てるようにまた配慮していただきたいなというふうに思います。

もう一つ、ちょっと気になることなんですけれども、一般のバスとか交通網の話なんですけれども、高齢化がますます進む中で、我々のエリアもかなり高齢者が多くなります。そういう中で、交通網について循環型の何か交通網、お年寄りに優しいような交通網をつくっていただいて、お年寄りが小立野の県立図書館、美大等を循環できるような、あるいは我々の町というのは大学を抱えている大学駅前町という中で、大学との交流もできるような、そういう循環型の交通網が何かあったらいいなというふうに思うわけです。10年後、そういう未来があるといいなというふうに思いますが、いかがでしょうか。

**【木谷道路管理課長】**

通学路の安全に対してのお話ありがとうございました。金沢市では教育委員会と土木局のほうで金沢市通学路交通安全プログラムというものを策定いたしておまして、小学校全てを5年に1回、道路管理者、教育委員会、そして警察の方と安全点検を実施しております。

今回、新しい小学校が開設されたということでございますので、まず最初に安全点検をするべきだというふうに考えておりますので、持ち帰りまして、いつのタイミングであるのか、開校してからなのかその前なのか、とにかく安全点検を実施すると。通学路については教育委員会のほうで定めなきゃいけないものですから、その中でどういう安全対策ができるのか、それも含めまして点検を実施していきたい。

点検を実施しますと、パトロールの強化とか、通学路を変えてみたりとか、実際ハード面ですと、路面標示であるとか注意喚起であるとかいろんな施策を実施してまいりますので、まずは点検を実施することを持ち帰りまして協議したいと思っております。

**【新保都市政策局長】**

交通のことについては都市政策局所管でございますので少し考え方についてお答えをしたいと思います。

今現在、北陸鉄道さんを中心に路線バスが走っている地域がほとんどだと思いますけれども、なかなか今コロナ禍にあって北陸鉄道さんのバスに皆さん乗らなくなったんですね。密閉されている空間で、コロナが最初の頃は危ないということで、それでバスに乗る方がまだ戻ってないという中で、路線が切られたり、縮小されたりという悪循環に今陥っているというふうに思っております。ですので、市としてもまずはバスに乗っていただく施策についていろいろ考えていて、バスの環境をよくしていこうということ、そういうこ

とがまず1点。

それから、高齢者のお話があると思います。高齢者の方、基本的には車でいろいろ移動される方が今も多いと思いますけれども、どこかの時点で免許返納、それから車に乗れなくなる時期が来るということで、そういう方々が今後増えてくるというのは目に見えて分かっておりますので、そういう方々に対してどういうことをしていくかということ。バスに乗っていただくには、それだけのバス網が必要でございますので、そういう中で免許返納をしていただけるようなインセンティブがあるような施策、そういうことも今考えていきたいというふうに思っております。

あともう一つ、循環型の地域を回れるようなバスということになると、まちなかはふらっとバスというものがあるんですが、当然郊外はなかなか難しい。バスが不便な地域、中山間地域なんかは今、地域運営交通という考え方がございまして、町会連合会が中心となって地域でバスを運営していただくということを促進しているところでございます。

今、田上地区はまだ北陸鉄道のバスもあるほうだと思っておりますが、ただ、北陸鉄道はまちなかに向かうバス、駅に向かうバスが多いものですから、地域の循環というのは当然ないものですから、そういう中で、もしご入り用であれば地域の中でそういう循環をするようなバス網というものが、例えばお近くの病院とかショッピングセンター、イオンさんになるんだと思うんですけれども、そういうところに行くというのが必要になってくる高齢者の方が多くて、北陸鉄道のバスに乗るよりも、地域にまず行けないという方々が増えると、そういうバス網も必要になってくるのが今後出てくるかもしれない。

ですので、我々とすれば北陸鉄道の公共交通がまず一番大事なんですけれども、その中で中山間地域とか郊外の方々については地域運営交通というものをどうやって広げていくかということも今後考えていかなくちゃいけないということで、今、第3次交通戦略の中でそういう考え方も少し入れさせていただいて、今後の交通戦略をきちんとしていこうというふうになっておりますので、また皆さん方とお話をさせていただきながら、どのような交通が必要かということは我々も常に考えていきたいと思っております。

#### 【東浅川地区町会連合会】

先ほど村山市長の話は本当にどうもありがとうございます。

ただ言えることは、私の思いなんです、山出市長のときには湯涌街道を、これはもうゆずの街道にしたらいいなと。私どもの上中町の町内の橋を、これはゆずの橋にしたらど

うやと、いいなということで山出市長のときにもそういうふうに尽力していただきましたけれども。そして、前山野市長のときには、やはり小学校のことを物すごく心配していました。

それは先ほど会長のほうも言われたことですからあれですけども、ただ耕作地、だんだんだん高齢化によって放棄地が増えてきているわけなんですよね。おとし、私、柿畑と、そしてリンゴも熊によって食べられました。去年は国と金沢市の支援というか応援によって電気柵を支援していただくことができました。でも、だんだんだんだんやっぱり高齢化によって畑が荒れてくると、動物が逃げやすい場所というかそういうふうに出てきているわけなんです。そうすると今後10年ということを考えると、山間地にももう少し目を向けていただければなというふうに思いましたのでお話しさせていただきましたということです。

#### 【村山金沢市長】

ありがとうございます。

これから10年後にそれぞれの集落がどういう構成になっていっているかということを考えるのに対して、今、最後のチャンスというかそういった時期だと思っているんです。というのも、今、60後半あるいは70前半の方がこれから10年後にそういった年になっていくという形で集落をこれから運営しなければならないとなると、どう動かしていったらいいかというのは今のうちに考えないといけないと思っています。

そういった中で、今私の頭の中で思っているのは大学、あるいは大学生という方がたくさんいらっしゃる中、この力をどのように使えるかと。もちろん単なる労働力として動かしていくということではなくて、その地域について学ぶというような機会をどうつくれるかなというように思っています。

これから大学との連携の話になっていくんですが、まだアイデアベースなので何とも言えませんけれども、そういった方向で考えなければいけないというように思っているところだけ言わせていただきます。

## 4 市長まとめ

#### 【村山金沢市長】

本日は遅い時間までありがとうございました。

また、10年後ということを見据えて、そのキーワードでの議論ができたということは非常に有意義だったというように思っております。

これから先、それぞれの地域での課題があると思いますけれども、また答えられなかった部分もございましたが、持ち帰ってまた回答させていただきたいと思ひますし、今後策定する都市像の中にそのご意見も踏まえながら検討させていただきたいというように思ひつてございます。

本日は本当にありがとうございました。